

ソーシャル PM ニュース 2015年2月

2015年3月4日更新

PMI 日本支部 ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会

ソーシャル・プロジェクト（社会課題の解決を目的とするプロジェクト）のマネジメントについて、研究活動の状況、イベント、人材募集などについてお伝えします。

2015年2月 もくじ

- A. 研究会活動の状況
 - A1 ソーシャル PM 研究会創設の経緯
 - A2 ソーシャル PM 研究会の活動紹介
- B. ソーシャル PM 関連イベント
 - B1 ソーシャル PM セミナー第2回
 - B1 国連防災世界会議
- C. プロジェクト・マネジャー募集
 - C1 「WORK FOR 東北」プロマネ募集
 - C2 「サービスグラント」プロマネ募集

=====

A. 研究会活動の状況

ソーシャル PM ニュースの第1回ですので、ソーシャル PM 研究会創設の経緯と活動内容について概要をご紹介します。

A1 ソーシャル PM 研究会創設の経緯

PMI 日本支部では、東日本大震災以来「復興支援プログラム」として複数のプロジェクトを支援してきました。その教訓に基づいて、より広く社会課題の解決に役立つマネジメント手法の開発、普及を目指して「ソーシャル PM 研究会」を立ち上げました。

詳細については、次のウェブサイトをご覧ください。

【特別寄稿】PMI 日本支部の復興支援プログラム

～復興支援からソーシャル・プロジェクトマネジメントへ～

<https://www.pmi-japan.org/topics/cat613/socialpm.php>

A2 ソーシャル PM 研究会の活動紹介

研究会の紹介は、PMI 日本支部のニューズレターに掲載しました。

(その1) ソーシャル・プロジェクトマネジメントとは

https://www.pmi-japan.org/newsletter/pdf/vol59_140625.pdf (13 ページ)

(その2) WG1 (事例調査 WG)、WG2 (手法開発 WG) の紹介

https://www.pmi-japan.org/newsletter/pdf/vol60_final.141215.pdf (11 ページ)

(その3) WG3 (普及活動 WG)、WG4 (実践 WG) の紹介

https://www.pmi-japan.org/newsletter/pdf/vol61_141224.pdf (22 ページ)

=====

B. ソーシャル PM 関連イベント

B1 ソーシャル PM セミナー第 2 回

昨年 2 月の第 1 回セミナーでは、ソーシャル活動を支援するプロジェクトマネジメントの必要性について情報交換をしました。

来る 2 月 28 日には第 2 回のソーシャル PM セミナーを開催いたします。

今回は下記のように、「ソーシャル活動の典型的な事例」とそこから導き出した「ソーシャル PM のフレームワーク」についてご説明いたします。

詳細は次のウェブサイトをご参照ください。

https://www.pmi-japan.org/event/open_seminar/other/2015_01_22_spm_20150228.php

◎ソーシャル活動事例紹介

「情報支援レスキュー隊 (IT DART)」

ネットコマース株式会社 代表取締役 斎藤昌義 様

東日本大震災の直後、「情報の空白地帯」が生じ救済が遅れたために大きな被害を受けました。発災直後の被災地の情報収集・発信を助ける体制の構築を目指しています。

◎ソーシャル・プロジェクトマネジメントの提案

ソーシャル PM 研究会 手法開発リーダー 中谷英雄

ソーシャル活動を進めるには、「デザイン思考」プロセスの活用が効果的です。

情報支援レスキュー隊プロジェクトを「デザイン思考」モデルに合わせて体系化し、ソーシャル PM フレームワークとして解説します。

ソーシャル活動に取り組まれている皆さま、社会課題に関心をお持ちのプロジェクト・マネジャーの皆さまからのご意見をいただき、さらにソーシャル PM の充実を図っていきたいと思います。ぜひご参加ください。

B2 国連防災世界会議

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議であり、第1回(1994年、於：横浜)、第2回(2005年、於：神戸)の会議とも、日本で開催されています。第2回会議では、2005年から2015年までの国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組」が策定されるなど、大きな成果をあげています。

第3回国連防災世界会議は、2015年3月14日(土)～18日(水)、仙台で開催され、国連全加盟国(193カ国)、国際機関、認定NGO等が参加します。東日本大震災の被災地である仙台市で本件会議を開催することは、被災地の復興を世界に発信するとともに、防災に関する我が国の経験と知見を国際社会と共有し、国際貢献を行う重要な機会となります。

世界の防災戦略を議論する本体会議には、国連に加盟する世界193カ国から、各国首脳・閣僚を含む政府代表団、国際機関、認定NGOなど5,000人以上が仙台に集まります。

会議期間中には、国連主催の本体会議とは別に、政府機関、地方自治体、NPO、NGO、大学、諸団体などが主催する復興防災をテーマとしたシンポジウム・展示といった、パブリック・フォーラム(関連事業)が多数開催されます。

以上出典：第3回国連防災世界会議ウェブサイト

<http://www.bosai-sendai.jp/>

ソーシャル PM 研究会が連携している3つの団体がパブリック・フォーラムに参加します。

◎遠野まごころネット

「実践・防災とコミュニティ 救われる生命」

3月15日(日) 9:00-12:00 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 (ホール1)

◎情報支援レスキュー隊 (IT DART)

アクションワークショップ

3月15日(日) 9:00-12:00 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 (ホール5)

◎情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP)

「災害時の情報行動共通ルール作成」ワークショップ

3月15日(日) 13:00-16:00 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 (ホール5)

C. プロジェクト・マネジャー募集

ソーシャルPM研究会が連携している団体からのプロマネ募集です。

C1 「WORK FOR 東北」プロマネ募集

◆ 「WORK FOR 東北」事業とは

「WORK FOR 東北」は2013年10月、復興庁が立ち上げたプロジェクトです。2014年度からは日本財団が引き継ぎ、復興庁は協働主体という形で事業を運営しております。東日本大震災で被災した自治体などの人材ニーズと、復興の現場で働きたいという個人、企業の方をおつなぎするサポートを実施しております。

被災自治体では人手不足が慢性化しており、特に復興にあたっての質的な人材の不足を補うことに重点を置いているのが本事業の大きな特徴となります。産業の復興、まちづくり、コミュニティ支援など、自治体の力だけでは対応が難しい課題に、民間人材のスキル、ノウハウが求められております。

復興に携わる業務にご関心のある方、ぜひ一度ご検討ください。

◆お勧めの案件

岩手県大船渡市市民活動支援センター マネジャー

住民自治組織、市民活動団体の活動促進に向けた情報収集・相談対応や市民参加型ワークショップの企画・運営（大船渡市総合計画策定ワークショップ等、さまざまな計画づくりや事業実施における対話の場づくり）などを推進いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/93>

岩手県岩泉町地域づくりコーディネーター統括マネジャー

地域づくりコーディネーター全体での情報共有や首都圏・県内外の企業・組織と町内資源のマッチングなど、町全体、そして各地域での活動がより推進するための体制づくり、仕組みづくりを実施いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/94>

岩手県野田村 のだむら復興応援隊

野田村職員、村民、関係団体等と連携しながら、地域コミュニティの継続、地域コミュニティ活動の活性化のための人口減少対策に係る戦略づくり、およびその戦略に基づく活動を担当いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/91>

石巻市役所産業部商工課

地域資源を活用した新商品開発、E コマースサイトの構築やテレワーク等の ICT を活用した新産業創出、新設予定の公設民営マーケット（観光交流施設）の企画 農林漁業の6次産業化、新産業の創出支援等をご担当いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/88>

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 総括相談員

福島県内各地の仮設住宅、借上住宅、復興公営住宅等のコミュニティ支援として、200人以上の相談員を配置している。この相談員の全体的スキルアップのための研修企画実施・個別支援を統括していただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/99>

その他、全体の募集案件は以下よりご覧いただけます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/>

お問い合わせ・お申し込みは以下まで

日本財団「WORK FOR 東北」事務局

東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F

TEL : 03-6229-5229 (9:00~18:00/土日祝除く)

E-Mail : jinzai-pf@ps.nippon-foundation.or.jp

C2 「サービスグラント」プロマネ募集

■サービスグラントのご紹介

プロボノとは『ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動』を指し、サービスグラントでは2005年よりプロボノコーディネートを通してNPOの支援を行っています。

プロジェクトマネジメント、マーケティング、コピーライティング、デザイン等のさまざまなスキルを持った、多くの社会人の方が「プロボノワーカー」としてご登録されています。5~6人でチームを編成し、NPOのウェブサイトや事業計画などの成果物を作る”プロジェクト型”の支援が特徴です。

チームには必ず”プロジェクト・マネジャー”が入り、チームリーダーとして支援先NPOとの窓口やプロジェクト進捗管理、品質管理など、さまざまな場面でご活躍されています。またご参加経験者からは、マネジメントのスキルアップに役立ったというコメントをはじめ、社外のビジネスパーソンとのコミュニティ醸成、会社や家庭以外のサードプレイスの

確立、NPO と身近に接することでの社会課題への関心度の高まりなどが期待でき、活動を通して社会への見方や価値観が変わったという声も寄せられています。

※参考資料：プロボノセンサス

<http://www.servicegrant.or.jp/program/probonocensus2013.php>

■サービスグラントにご参加いただくには？

1. スキル登録

ご参加への第一歩として、皆さまのビジネススキルや専門知識について『スキル登録』をお願いしています。ご参加までの流れ、ならびにスキル登録フォームは以下ページよりご確認ください。

<http://www.servicegrant.or.jp/skill/flow.php>

2. プロボノワーカー説明会ご参加

実際のプロジェクトにご参加いただくための必須条件として、皆さまには「説明会」へのご参加をお願いしています。説明会では、より詳しくサービスグラントの考え方、これまでの実績、プロジェクトの進め方、参加にあたっての留意点等をご案内させていただいており、お時間としては1時間～1時間半程度です。

《2、3月プロボノワーカー説明会スケジュール》

- ・2月25日（水） 19：30～21：00
- ・3月14日（土） 10：30～12：00
- ・3月18日（水） 19：30～21：00
- ・3月25日（水） 19：30～21：00

▽ 説明会について詳しくは・・・

<https://www.servicegrant.or.jp/skill/orientation.php>

■次期プロジェクト立ち上げまでのスケジュール

サービスグラントでは、NPO からの助成申請・審査を経て、4カ月に1度新規のプロジェクトの立ち上げを迎えており、次期は7月キックオフ予定です。ただスキル登録、説明会へのご参加、チーム編成等のスケジュールに間に合わせるため、できるだけ4月までのご登録をお願いいたします。

《ご参加までの推奨スケジュール》

- ・3月、4月：スキル登録、プロボノワーカー説明会ご参加
- ・5月：PM ご希望者対象説明会の実施（マネジメントに特化した説明会です）
- ・6月：プロジェクト立候補募集、チーム編成
- ・7月：プロジェクトキックオフ

皆さまのご登録、心よりお待ちしております。

■お問い合わせ先

NPO 法人サービスグラント（担当：岩渕）

03-6419-402

info@servicegrant.or.jp

=====

編集後記

ソーシャル PM のひとつの形が見えてきました。まだまだ研究の余地がありますが、今後成果を共有し段階的に改善を図っていくために随時公開します。

また、社会課題解決の志を同じくするプロジェクト・マネジャーのコミュニティ醸成のために関係団体のイベントや人材募集の情報連携をいたします。

毎月 15 日の発行を目標にしますので、掲載希望のニュースをお寄せください。

発行者： PMI 日本支部 ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会

責任者： 研究会代表 高橋 正憲

=====